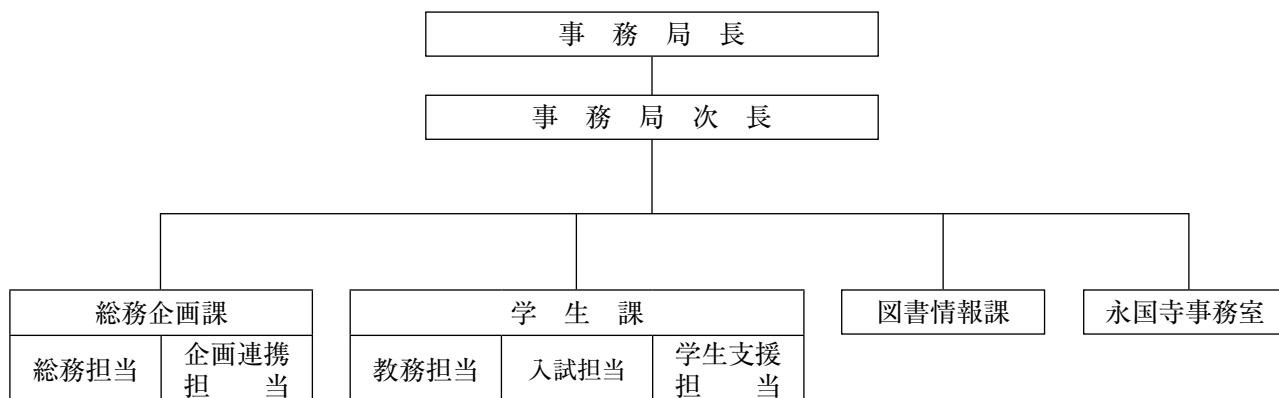
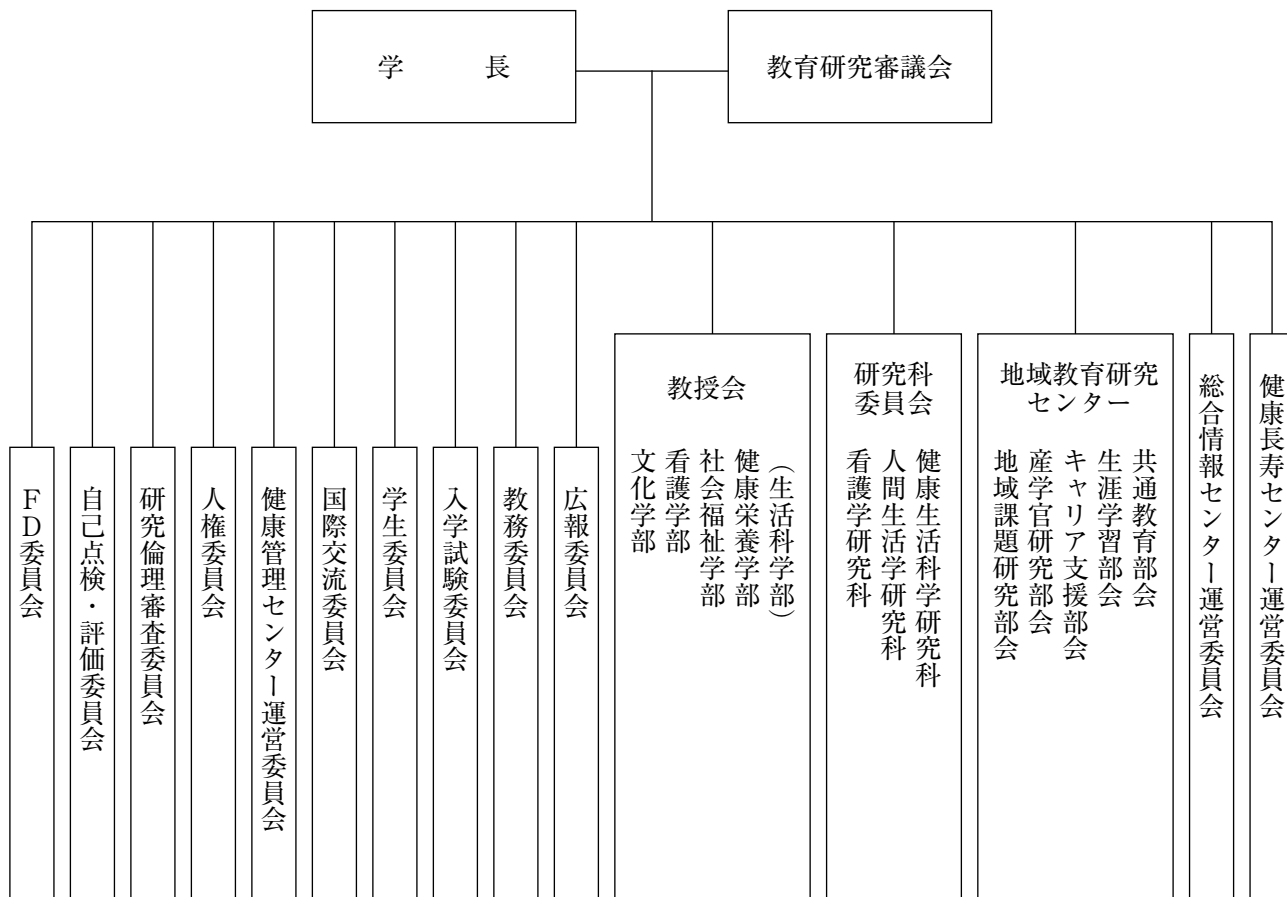


### 3 組織及び教職員

#### 1 組織（平成24年度）

##### (1) 組織図



## (2) 教職員構成

(平成24年4月1日現在)

区分	教 員								事務局職員				合計
	学 長	副 学 長	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	計	局 長	事 務 職 員	そ の 他	計	
現 員	1	2	45	23	16	28	4	119	1	31	2	34	153
内 訳	学 長	1						1					
	生活科学部			0	0	0	0	1					
	(生活デザイン学科)			0	0	0	0	0					
	(環境理学科)			0	0	0	0	1					
	文化学部			10	7	4	0	0					
	看護学部			14	8	3	20	0					
	社会福祉学部			9	4	5	6	0					
	健康栄養学部			7	2	4	1	3					
	地域教育研究センター			5	1	0	0	0					
	総合情報センター			0	1	0	1	0					

## (3) 平成24年度新規採用教員数

	学 長	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
学長	0						0
生活科学部			0	0	0	0	0
(生活デザイン学科)			0	0	0	0	0
(環境理学科)			0	0	0	0	0
文化学部			0	0	0	0	0
看護学部			0	2	1	3	6
社会福祉学部			0	0	0	2	2
健康栄養学部			0	0	0	1	1
地域教育研究センター			1	0	0	0	1
合 計	0	1	2	1	6	0	10

## 2 教 員 (平成24年度末)

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位 (大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
学 長	南 裕子	1942	カリフォルニア大学サンフランシスコ校院看護学部博士課程修了	看護学博士		

## ○生活科学部環境理学科

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位 (大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助 手	堀内 和美	1947	高知女子大学家政学部生活理学科卒業		化学基礎実験,生物学基礎実験	・高知県宿毛市沖ノ島の植物 ・アザミ属およびヒヨドリバナ属の分類学的研究

## ○健康栄養学部

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位 (大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	植田 哲雄	1947	徳島大学医学部栄養学科卒業	学士(栄養学) (徳島大学)	臨床栄養学、臨床実践栄養学、臨床栄養学実習、臨床栄養学臨地実習	・生活習慣病に対する食事療法について
教 授	川村美笑子	1949	東北大学大学院農学研究科博士後期課程中途退学	農学博士(東北大学)	基礎栄養学、応用栄養学	・食環境と脳機能・微量栄養素と栄養修飾・食物摂取・栄養適応と生活習慣病
教 授	佐藤 厚	1948	徳島大学大学院栄養学研究科博士課程修了	保健学博士 (徳島大学)	生化学、生化学実験、健康栄養学	・光刺激による植物蛋白質合成能に与える影響 ・ヒト唾液を用いた糖尿病早期発見のための指標開発 ・生活習慣病の発症予防のための行動変容に関する研究
教 授	逸見 幾代	1948	愛媛大学大学院連合農学研究科博士課程修了	博士(農学) (愛媛大学)	栄養教育論、栄養教育論実習、学校栄養指導論、学校栄養教育実習、ライフステージ栄養学、応用栄養学実習	・地球環境要因、食品の栄養成分変動、各ライフステージの健康に及ぼす影響に関する研究 ・地域の生活習慣病要因の探索と予防に関する栄養教育・行動変容への展開に関する研究
教 授	村上 尚	1960	熊本大学大学院医学研究科中途退学	博士(医学) (徳島大学)	人体の構造と機能、疾病論、生体科学実験・実習	・生活習慣病の細胞生物学的解析
教 授	渡邊 浩幸	1960	岩手大学大学院連合農学研究科修了	博士(農学) (岩手大学大学院)	食品学、食品機能学	・エネルギー代謝調節機能を有する食品の意義 ・栄養機能探索 ・生体内メイラード反応

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	和田 安彦	1960	秋田大学大学院医学研究科修了	博士(医学) (秋田大学)	健康栄養学基礎、健康情報論実習、公衆衛生学、地域健康論、地域医療論、環境衛生学実習、疫学(看護)、介護論、食と介護(実習)、臨床医科学、卒業研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射性物質による食品汚染・高知県におけるアスベスト対策</li> <li>災害時における水の確保と非常食の活用</li> <li>給食施設等の衛生管理と労働衛生・嘔みごたえのある食品の活用</li> <li>Wolfram 症候群の実態調査・職業性ストレスと過労死</li> <li>コホートを用いた循環器疾患・生活習慣病の疫学</li> <li>摂食障害の疫学・エネルギー制限による老化制御</li> <li>患者背景情報の活用と長期保管</li> </ul>
准教授	荒牧 礼子	1958	高知女子大学大学院 人間生活学研究科 修士課程修了	修士(生活学)(高知女子大学大学院)	公衆栄養学、公衆栄養学実習、地域公衆栄養学臨地実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養表示に関する研究</li> <li>料理書籍の出版数の推移からみた食生活スタイルに関する研究</li> <li>勤労者世帯の生活習慣と指導効果に関する研究</li> </ul>
准教授	川口 順子	1948	九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術工学専攻博士課程修了	博士(芸術工学) (九州大学)	服飾造形実習 家庭科教育法	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の衣生活支援</li> <li>色彩のユニバーサルデザインに関する研究</li> </ul>
講師	島田 郁子	1964	高知女子大学大学院人間生活学研究科修了	修士(学術)(高知女子大学大学院)	給食経営管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>イスラム教徒の断食による生活リズムの変化とその修復</li> <li>クックチルシステムの有効性に関する研究</li> <li>高齢者の給食喫食率向上の試み-肉軟化剤等による検討-</li> </ul>
講師	西岡 道子	1969	鳥取大学大学院連合農学研究科修了	博士(農学) (鳥取大学)	調理学、調理学実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種加熱調理における魚肉の調理変化について</li> <li>真空調理における魚肉のビタミン B<sub>12</sub> 含量</li> </ul>
講師	三木 章江	1969	四国女子大学家政学部管理栄養士養成課程卒業		公衆栄養学、地域保健臨地実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病に関する研究</li> <li>栄養情報に関する研究</li> </ul>
講師	廣内 智子	1977	高知県立大学大学院人間生活学研究科修了	修士(学術) (高知県立大学)	臨床栄養学実習、臨床栄養学臨地実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>アレルギー物質を含む食品に関する表示について</li> <li>災害時要援護者を含む避難者の栄養・食生活支援について</li> </ul>
助教	田中 守	1982	川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科健康科学専攻博士後期課程修了	博士(健康科学) (川崎医療福祉大学大学院)	生化学実験、基礎栄養学実験	<ul style="list-style-type: none"> <li>食物アレルギーにおける消化吸収メカニズムの解明</li> <li>食品由来ペプチドのアレルギー発症抑制効果</li> </ul>
助教	水島 直子	1972	高知女子大学大学院人間生活学研究科修了	修士(学術) 高知女子大学	臨床栄養学実習、臨床栄養学臨地実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病に対する栄養管理・食事療法について</li> <li>生活習慣病患者に対する栄養指導における地域連携体制の構築</li> </ul>
助手	川村 真美	1955	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		食品学実験、食品衛生学実験	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品の機能性評価について</li> </ul>

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助手	彼末 富貴	1960	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		調理学実習,生体科学実験・実習	・土佐の伝統食
助手	沼田 聡	1984	徳島文理大学大学院人間生活学研究科食物学専攻博士前期課程修了	博士(学術) (徳島文理大学)	給食経営管理実習、給食経営管理臨地実習、環境衛生学実習	・自己抗体の高感度測定法の開発

## ○文化学部文化学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	青木 晴男	1949	早稲田大学大学院文学研究科博士課程3年次退学	文学修士 (早稲田大学)	現代イギリス文学演習	環境文学の観点から、D.H. ロレンスの作品を自然と人間のかかわり方に焦点を当て、ロマン主義作家のそれと比較しつつその独自性を明らかにする。同時に、ポストコロニアリズムやエコクリティシズムの視点からも同作家の特質を吟味する。
教授	井本 正人	1949	京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学	経済学修士 (京都大学)	生活経営学,生活経済学	・公共交通 ・生活者サイドからの地域づくり論 ・平等の経済学的研究
教授	佐藤 恵里	1948	早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了	博士(文学) (早稲田大学)	日本近世文学演習	近世文学・演劇に見る表現技法としての「やつし」、俄を中心とした芸能文化論
教授	芋生 裕信	1953	関西学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	文学修士 (関西学院大学)	日本近現代文学演習	小川国夫の研究、志賀直哉の研究
教授	鈴木 哲也	1955	東北大学大学院文学研究科	文学修士 (東北大学)	英米文化史	チャーサーの『カンタベリー物語』、中世ヨーロッパのキリスト教文化、大学生向けのキャリア教育
教授	大村 誠	1958	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	博士(理学) (京都大学)	防災文化論、観光と自然環境 (共)自然災害と防災の科学	・防災全般(防災教育、地域防災、災害看護) ・人工衛星/航空機搭載合成開口レーダー(SAR)の応用 ・科学教育、サイエンスコミュニケーション
教授	東原 伸明	1959	国学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	博士(文学) (名古屋大学)	平安朝文学演習	古事記、土佐日記、源氏物語の語りと言語・テキスト分析
教授	岩倉 秀樹	1960	広島大学大学院社会科学研究科法律学専攻博士課程後期単位取得退学	法学修士 (広島大学)	現代社会論	表現の自由、選挙法

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	橋尾 直和	1960	東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学	教育学修士 (鳴門教育大学)	日本語言語文化論演習	東アジアにおける地域言語(日本語諸方言・アイヌ語・琉球語)の文化環境言語学的研究
教授	五百蔵高浩	1963	兵庫教育大学大学院連合博士課程単位取得退学	博士(学校教育学) (兵庫教育大学)	英語言語文化演習	日本人英語学習者の第2言語音韻および語形成能力習得研究 コーパス言語学的アプローチによる英語学習語彙に関する研究
准教授	三浦 要一	1965	大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程修了	博士(学術) (大阪市立大学)	住生活学,住文化史	・伝統的集落・町並みの保存と生活空間計画 ・歴史的建造物の復元に関する調査研究 ・大阪の都市空間に関する住居史的・都市史的研究
准教授	高西 成介	1968	広島大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学	文学修士 (広島大学)	中国文学演習	六朝志怪小説、唐代伝奇小説の解説、およびそれらの作品を通して当時の社会・文化、および人々の心性の解明
准教授	鈴木 康郎	1969	筑波大学大学院博士課程教育学研究科	修士(教育学) 筑波大学	比較文化論演習	比較・国際教育学、東南アジアにおけるシティズンシップ教育、学校教育の国際交流
准教授	ヨース・ ジョエル	1970	ルーヴェンカトリック大学日本学科 博士課程修了	博士(日本学)(ルーヴェン大学ベルギー)	日本思想史	自由民権運動、近代思想における「自由」
准教授	金澤 俊吾	1973	東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了	博士(情報科学) (東北大学)	英語学	英語における形式と意味との対応関係に関する研究 英語における形容詞が関わる構文の意味的ネットワークに関する研究
准教授	山口 善成	1974	筑波大学大学院博士課程文芸言語研究科	文学修士 (筑波大学)	アメリカ文学演習	19世紀半ばのアメリカにおける国家史の誕生(とりわけ国家史の誕生と自然誌との関わりについて)
准教授	吉川 孝	1974	慶應義塾大学大学院文学研究科哲学倫理学専攻後期博士課程修了	博士(哲学) (慶應義塾大学)	哲学・倫理学	現象学派的倫理学、生き方の哲学、ケアの哲学
講師	ローレン・ ウォーラー	1974	京都府立大学文学研究科、米国コロンビア大学東アジア研究	文学修士(京都府立大学)、文学修士(コロンビア大学)	日本文学	話型(天人女房説話や地名起源説話)、万葉集伝説歌、上代文学の受容史
講師	飯高 伸五	1974	東京都立大学大学院社会科学部研究科博士課程単位取得退学	博士(社会人類学) (東京都立大学)	文化人類学、民俗学、観光文化論	旧南洋群島における日本統治経験に関する歴史人類学的研究、アジア・太平洋戦争の記憶に関する民族誌的研究、アジア・太平洋地域における観光と文化復興に関する研究、沖縄出身者の同郷者集団の比較研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
講師	向井真樹子	1976	ニューカッスル大学大学院 School of English & Linguistics	博士(言語学) (ニューカッスル大学)	言語学	英語、スカンディナヴィア諸言語族、日本語の複合語

## ○看護学部看護学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	畦地 博子	1964	高知女子大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了	看護学博士 (高知女子大学)	精神看護学	精神科看護師のケア技術に関する研究
教授	池添 志乃	1965	高知女子大学大学院健康生 活科学研究科博士課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	学校保健・基礎看護学	生活の再構築に取り組む家族の介護キャリアに関する研究、子どもと 家族の生きる力を支えるケアについての研究
教授	池田 光徳	1959	岡山大学大学院医学研究科 博士課程修了	医学博士(岡山大学)	専門基礎医学	長期臥床者の体表負荷のアセスメント、線維芽細胞の上皮-間葉移 行および間葉-上皮移行に基づいた強皮症の新規治療法、潜在的皮 膚がんの検出を目的としたフィールドワーク
教授	竹崎久美子	1960	高知女子大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了	看護学博士 (高知女子大学)	老人看護学	高齢者の「居がい」について、小規模デイサービスの場づくりとケア 効果、高齢患者の自宅退院支援プログラムの開発、南海トラフ巨大地 震準備期における災害看護
教授	時長 美希	1957	高知女子大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了	看護学博士 (高知女子大学)	地域看護学	アウトリーチによる保健師活動に関する研究 脆弱な対象者への地域看護介入に関する研究
教授	長戸 和子	1961	高知女子大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了	看護学博士 (高知女子大学)	基礎看護学・家族看護学	病者特に慢性疾患患者とその家族への看護、家族マネジメント力に 関する研究
教授	中野 綾美	1958	日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科博士課程満期 退学	看護学博士 (日本赤十字看護大 学)	小児看護学	研究成果を実践に根付かせるための専門看護師を活用した臨床-研 究連携システムの構築、病気の子ども・家族の医療への参画に関する 研究
教授	野嶋佐由美	1950	カリフォルニア大学サンフラン シスコ校看護学部博士課程 修了	看護学博士 (カリフォルニア大学)	基礎看護学	患者・家族への効果的な介入方法の開発および看護ケアにおける倫 理的課題に関する研究
教授	藤田 佐和	1959	聖路加看護大学大学院看護 学研究科博士後期課程修了	博士(看護学) (聖路加看護大学)	がん看護学	在宅移行する終末期がん患者のエンパワメントを支える看護ケア指針 の開発、研究-臨床連携システムによるがん患者の在宅移行エンパー メント看護介入の評価研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	宮武 陽子	1949	大阪教育大学大学院教育研究科修士課程修了 高知女子大学健康生活科学研究科満期退学	学術修士 (大阪教育大学)	慢性看護学	看護師の生涯教育システムの構築、慢性病者(糖尿病患者)のエンパワメントアプローチに関する研究
教授	森下 利子	1950	三重大学医学部衛生学講座衛生学専攻修了	医学博士(三重大学)	急性期看護学	がん看護領域におけるホリスティック・アプローチを基盤とするケアモデルの開発 在宅移行するがん患者のエンパワーメントを支える看護ケア指針の開発
教授	森下 安子	1958	東京医科歯科大学医学系研究科博士前期課程修了	看護学修士 (東京医科歯科大学)	在宅看護学	在宅生活の継続と自立を支援するケアマネジメント技術、在宅移行を支援に関する研究、災害看護支援ネットワークに関する研究
教授	松本 鈴子	1959	広島大学大学院医学系研究科博士後期保健学専攻(単位取得満期退学)	保健学博士 (広島大学)	母性・助産看護学	女性の出産体験に伴うトラウマ後のレジリエンスに関する研究 助産学生の実践能力を高める教育方法に関する研究
教授	山田 覚	1957	東海大学大学院工学研究科博士課程修了	工学博士(東海大学)	看護管理学	看護管理システムの分析と設計、看護サービスの質の向上と安定、災害看護支援ネットワークに関する研究
教授	藤田 冬子	1962	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	老人看護学	高齢者の家族介護者の能力抗向上、高齢者のせん妄
准教授	大川 宣容	1967	千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	看護学修士 (千葉大学)	急性期看護学	がん患者のエンパワーメントを基盤とした在宅移行支援モデルの開発、手術患者の身体感覚を基盤とした生活の拡がりを支える看護援助モデルの開発、災害看護支援ネットワークの運用に関する研究
准教授	内川 洋子	1965	佛教大学教育学研究科生涯教育専攻修了	教育学修士 (佛教大学)	看護管理学	看護におけるリーダーシップについて(看護師長、中堅看護師、看護師のリーダーシップ)、看護におけるチームワークについて、中堅看護師に対するチームワーク教育プログラムの開発
准教授	川上 理子	1967	東京医科歯科大学医学系研究科博士前期課程修了	看護学修士 (東京医科歯科大学)	在宅看護学	高齢者の在宅療養における家族介護者の看取り、地域を基盤とした在宅移行支援システムの開発、訪問看護師の質保証のためのプログラム検討
准教授	田井 雅子	1965	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	精神看護学	精神障害者の地域生活に向けた援助、統合失調症患者のセルフマネジメントに関する、研究家族看護エンパワーメントに関する研究
准教授	嶋岡 暢希	1969	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士(日本赤十字看護大学)	母性・助産看護学	乳児期の子どもをもつ親への育児支援に関する研究



職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	瓜生 浩子	1969	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	基礎看護学、家族看護学	病気や障害をもつ人とともに生きる家族の体験や家族への看護に関する研究
准教授	佐東 美緒	1965	広島大学大学院医学系研究科博士前期課程保健学修士課程修了	保健学修士 (広島大学)	小児看護学	NICU を退院したこどもとその家族を支える看護に関する研究
准教授	鈴木 幹子	1961	聖徳大学大学院児童学研究科修士課程修了	児童学修士 (聖徳大学)	母性・助産看護学	青年期の育児性
講師	石川 麻衣	1974	千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (千葉大学)	地域看護学	公衆衛生看護の展開方法に関する研究 行政保健師の機能・役割および活動の特質に関する研究 災害時の保健活動に関する研究
講師	廣川 恵子	1969	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	がん看護学	外来に通院しながら生活するがん患者の看護
講師	山中 福子	1963	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	慢性期看護学	慢性疼痛(非がん性)をもつ人への看護に関する研究 慢性心不全をもつ人への看護支援に関する研究
助教	井上 正隆	1978	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	急性期看護学	救命救急センター看護師、フライトナースを対象にしたメディカルシミュレーターを使った教育プログラムの開発 バイオマーカーを用いたストレスの測定
助教	大坂 京子	1980	徳島大学大学院工学研究科情報システム工学専攻博士後期課程修了	工学博士(徳島大学)	老人看護学	認知症高齢者の BPSD とつながり感に関する研究
助教	下元 理恵	1972	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士(高知女子大学)	慢性期看護学	慢性心不全患者の自己管理に関する研究
助教	高谷 恭子	1975	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	小児看護学	病気とともに生きる子どもと家族が辿る軌跡に関する研究
助教	府川 晃子	1976	神戸大学大学院保健学研究科博士前期課程修了	保健学修士 (神戸大学)	慢性期看護学	ターミナルケア、がん性疼痛、がん化学療法への看護ケアに関する研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	升田 茂章	1975	神戸市看護大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (神戸市看護大学)	基礎看護学	疼痛緩和への看護技術の効果に関する研究、看護ケアによって及ぼされる生体の自律神経系の変化に関する研究、家族看護に関する研究
助教	首藤ひとみ	1981	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	小児看護学	医療的ケアの必要な子どもと家族への支援に関する研究
助教	小原 弘子	1971	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	在宅看護学	地域・病院協働型在宅移行支援システムの開発 在宅移行期における訪問看護師の判断とケアのガイドラインの開発
助教	小澤 若菜	1974	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	地域看護学	生活習慣病予防、働く人の健康づくりに関する研究
助教	岩崎 順子	1970	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	母性看護学	乳児を抱える母親の Maternal Confidence についての研究
助教	坂元 綾	1966	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	基礎看護学	スタッフ育成における病棟看護師長の役割遂行を促進する教育プログラムの開発
助教	畠山 卓也	1973	東京女子医科大学大学院看護学研究科博士後期課程単位取得満期退学	看護学修士 (東京女子医科大学)	精神看護学 対人関係論	①精神科看護師のアイデンティティ形成に影響をもたらすケアの経験 ②精神科保護室における看護実践 ③病気を抱えた家族をエンパワメントする看護実践 ④避難所で活動した看護師の看護実践
助教	槇本 香	1982	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	精神看護学	精神科看護者が精神疾患をもつ人との間で用いている心理的距離のもち方を明らかにすること
助教	石井 歩	1981	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	がん看護学	青年期・壮年期など若い世代、働き盛りの世代のがんサバイバーとそ のご家族を支援する看護ケアに関すること
助教	芝崎 恵	1979	徳島大学保健科学教育部保健学専攻博士前期課程修了	看護学修士 (徳島大学)	母性看護学、助産看護学	若年層の性的予防行動について、全ての年齢層における性の課題
助教	福井 早苗	1972	Bournemouth University, MSC Management with Marketing	経営学修士 (Bournemouth University)	母性看護学、助産看護学	キャリア形成から見た卒後2年目看護師の継続教育

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	潮 由美子	1978	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	老人看護学	在宅移行期のシームレスケアに向けた病棟看護師と訪問看護師の協働のガイドライン
助教	大西ゆかり	1967	愛媛大学大学院医学系研究 科看護学専攻修士課程修了	看護学修士 (愛媛大学)	慢性期看護学	リンパ浮腫と共に生きる患者の看護
助教	川本 美香	1977	高知県立大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知県立大学)	地域看護学	人々の健康づくりについて
助教	小松弓香理	1982	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	基礎看護学	脳血管障害による後遺症をもつ人の家族への看護について
特任 准教授	神原 咲子	1977	岡山大学大学院医歯学総合 研究科国際環境科学講座公 衆衛生学博士課程修了	医学博士 (岡山大学)	国際・災害の公衆衛生	災害×国際×公衆衛生 + 看護=要相談
特任 助教	弘末 美佐	1973	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	がん看護学	在宅がん看護, 在宅緩和ケア

## ○ 社会福祉学部社会福祉学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	小坂田 稔	1953	岡山大学大学院自然科学研 究科博士後期課程修了	博士(学術) (岡山大学)	地域福祉の理論と方法	実践的地域包括ケアシステムの構築、中山間地における生活課題と地域福祉実践の方法
教授	杉原 俊二	1963	香川医科大学大学院医学研 究科環境生態系専攻博士課 程	博士(医学) (香川医科大学)	児童福祉論・面接技法	ナラティブアプローチによる対人援助、自分史分析
教授	住友 雄資	1961	北海道医療大学大学院看護 福祉学研究科博士課程修了	博士(臨床福祉学) (北海道医療大学)	福祉研究法・精神保健福祉 援助技術各論	精神障害者の地域生活支援
教授	田中きよむ	1962	京都大学大学院経済学研究 科博士後期課程単位取得退 学	経済学修士 (滋賀大学)	社会保障論	人間発達理論に基づく社会保障制度の再構築、住民主体の福祉型地域づくりの形成要因と発展プロセス、限界集落における高齢者の孤立問題と支援モデル

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	長澤紀美子	1963	新潟大学大学院現代社会文化研究科博士後期課程修了	博士(学術) (新潟大学)	国際福祉論	欧米(特にイギリスを中心とした)介護政策の動向、福祉(介護)サービスの評価・アウトカム評価、行政評価、NPM(ニュー・パブリック・マネジメント)政策の保健医療福祉分野への適用
教授	林 美朗	1958	富山医科薬科大学医学部北海道大学大学院文学研究科	博士(医学)(文学) (北海道大学)	精神医学、精神保健学、人体の構造と機能及び疾病	芸術精神医学(病跡学・芸術療法学)、仏教社会福祉学、社会精神医学、精神病理学、精神医学史学、精神科診断学
教授	前山 智	1949	大阪大学大学院工学研究科修士課程修了	博士(工学) (東北大学)	社会福祉特別演習I	情報教育
教授	丸岡 利則	1952	大阪府立大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (大阪府立大学)	相談援助の基盤と専門職	理論福祉学の確立に向けた学問的枠組みと方法
教授	宮上多加子	1958	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知女子大学)	介護過程・認知症の理解・発達と老化の理解	認知症介護実践力に関する研究、介護職の養成教育とキャリア意識
准教授	黒田しづえ	1950	大阪人間科学大学大学院人間科学研究科社会福祉修士課程修了	修士(人間科学) (大阪人間科学大学)	こころとからだのしくみ・発達と老化の理解・介護過程	ケアの在り方と実践方法
准教授	後藤由美子	1950	花園大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (花園大学)	介護の基本、生活支援技術	介護人材の教育に関する研究、ターミナルケアに関する研究
准教授	鈴木 孝典	1974	大正大学大学院人間学研究科博士後期課程福祉・臨床心理学専攻単位取得後退学	博士(人間学) (大正大学)	精神保健福祉論・精神保健福祉援助実習	精神障害者地域生活支援サービスにおける支援評価ツールの開発、精神障害者の居住支援に関する研究
准教授	西内 章	1972	龍谷大学大学院社会学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (龍谷大学)	事例研究法・相談援助実習指導	高齢者生活支援におけるソーシャルワークの展開方法に関する研究、エコシステム視座に基づくチームアセスメント支援ツールの研究
講師	上白木悦子	1974	九州大学大学院医学系学府環境社会医学専攻	博士(医学) (九州大学)	医療福祉論	医療・介護と代諾・代諾の可否の判断、代諾者の選定における医療ソーシャルワーカーの役割に関する基礎的研究 患者の自己決定を支える医療ソーシャルワーカーの役割に関する研究
講師	西梅 幸治	1978	京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法・相談援助実習指導	ソーシャルワークにおけるエンパワメント実践に関する研究、エコシステム視座に基づくコンピュータ支援ツールの研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
講師	鳩間亜紀子	1972	日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程修了	修士(社会福祉学) (日本社会事業大学)	高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者介護をめぐる事故に関する研究
講師	福間 隆康	1970	広島大学大学院社会科学研究所博士課程後期マネジメント専攻修了	博士(マネジメント) (広島大学)	福祉サービスの組織と経営	ヒューマン・サービスのクオリティ向上のためのマネジメントに関する研究
講師	三好 弥生	1965	立命館大学大学院社会学研究科博士前期課程修了	修士(社会学) (立命館大学)	コミュニケーション技術・生活支援技術Ⅱ	高齢者の看取りに関する研究
助教	石川 由美	1967	高知女子大学大学院人間生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	認知症の理解Ⅱ・生活支援技術Ⅳ	介護支援専門員の職務認識に関する研究
助教	稲垣 佳代	1983	高知女子大学大学院人間生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	精神保健福祉援助技術各論	精神障害者の就労支援に関する研究
助教	加藤 由衣	1982	京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士前期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法・相談援助実習指導	ソーシャルワーク教育の包括的な教育展開に関する研究 ソーシャルワークにおける現任教員方法の研究
助教	鈴木 裕介	1980	大正大学人間学研究科社会福祉学専攻修士課程修了	修士(社会福祉学) (大正大学)	医療ソーシャルワーク論	地域における高齢者の医療・福祉のフェルトニーズに関する研究
助教	田中 眞希	1976	高知女子大学大学院人間生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	介護の基本・生活支援技術	介護福祉士養成教育に関する研究
助教	二本柳 覚	1980	日本福祉大学大学院社会福祉学研究科福祉マネジメント専攻修士課程修了	修士(福祉マネジメント) (日本福祉大学)	精神科リハビリテーション学	質の高い社会福祉専門職養成教育のあり方に関する研究
助教	橋本 力	1979	大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程 単位取得後退学	博士(学術) (大阪市立大学)	高齢者に対する支援と介護保険制度、虐待防止論、相談援助実習指導	ケアマネジメントにおけるインフォーマル・サポートの活用に関する研究

## ○ 地域教育研究センター

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	一色 健司	1958	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	基礎化学,地球の科学	・環境水中の微量元素を指標とした環境動態の解明・微量元素の超高感度分析法・存在状態の解析法の開発
教授	宇野 浩三	1952	北海道大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学	工学博士(北海道大学)	居住環境論,住まいと健康と安全	水切瓦と水切庇と土佐漆喰, 住まい・まち・環境教育, 住宅・住様式の地域性, 住宅・住環境におけるユニバーサルデザイン
教授	萩沼 一男	1950	広島大学大学院理学研究科博士課程退学	理学博士(広島大学)	基礎生物学	・ハマボスの染色体多型の解明
教授	清原 泰治	1961	筑波大学大学院修士課程体育研究科体育方法学専攻	体育学修士(筑波大学)	健康スポーツ科学I・II	1950~60年代における市町村民運動会の社会的機能に関する研究 高知県の中山間地域の活性化と大学教育
教授	谷本 真二	1950	大阪大学基礎工学部研究科博士課程退学	工学博士(大阪大学)	数学と情報,基礎統計学	・非線形解析学,複雑ネットワーク科学
教授	羽田 行男	1954	早稲田大学大学院教育学研究科博士課程後期単位取得退学	教育学修士(東京学芸大学)	発達心理学,教育心理学,教育相談論,生徒指導論	教育相談における心理臨床にもとづいた事例研究,発達に課題がある子どもに対する心理学的教育方法の研究
准教授	團野 哲也	1956	東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了	工学博士(東京工業大学)	人間の安全保障と国際協力,くらしのなかの光	・材料の分光学的キャラクタリゼーション ・パレスチナ難民に対する家庭科教育の調査研究

## ○ 総合情報センター

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	風間 裕	1959	北海道大学大学院理学研究科博士課程修了	理学博士(北海道大学)	物理学通論,量子物理学	・コンピュータを用いた物理学の教材開発・軽い核の構造解析
助教	名和 真一	1963	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	情報処理概論,コンピュータリテラシ	・核力と量子色力学QCD, 計算機物理

## 【大学院】(平成25年3月31日現在)

## ○看護学研究科&lt;修士課程&gt;

領域	職名	氏名	主たる担当科目
-	教授	森下利子	成人看護ケア研究、臨床看護学研究演習、臨床看護学研究方法I・II
-	教授	野嶋佐由美	看護理論と実践、看護研究と実践、精神看護論、精神看護展開論I
-	教授	宮武陽子	慢性看護論、慢性看護対象論、慢性看護方法論I・II
-	教授	中野綾美	小児看護論、小児看護対象論、小児看護方法論I・II
-	教授	山田 覚	看護管理論、システム経営管理論、看護サービス管理論
-	教授	藤田佐和	がん看護論、がん看護方法論、看護倫理、がん看護学実践演習
-	教授	時長美希	地域看護論、地域看護展開論I・II、地域ケア研究
-	教授	長戸和子	家族看護論、家族看護援助論、家族ケアの開発、家族看護学実践演習
-	教授	森下安子	在宅老人看護論、在宅看護展開論、在宅看護学実践演習
-	教授	竹崎久美子	老人看護論、老人看護展開論、老人看護学実践演習
-	教授	畦地博子	精神看護論、精神看護対象論、精神看護方法論I・II
-	教授	池田光徳	病態生理学、フィジカルアセスメント特論、がん病態生理学
-	教授	池添志乃	看護理論と実践、家族看護学実践演習、学校保健研究
-	教授	松本鈴子	母性・助産看護ケア研究
-	教授	藤田冬子	看護コンサルテーション論、老人看護対象論、老人看護展開論
-	准教授	川上理子	在宅看護展開論I、在宅看護学実践演習
-	准教授	田井雅子	精神看護学実践演習、精神看護ケア研究
-	准教授	瓜生浩子	家族と病気、家族看護学実践演習
-	准教授	内川洋子	看護管理展開論、看護サービス管理論、臨床看護管理研究
-	准教授	佐東美緒	小児看護対象論、小児看護方法論I・II
-	講師	廣川恵子	がん看護方法論II・III、がん看護学実践演習
-	助教	畠山卓也	精神看護学実践演習

## ○人間生活学研究科&lt;修士課程&gt;

領域	職名	氏名	主たる担当科目
共通	教授	前山 智	特別講義V(データ解析論)
共通	教授	谷本真二	特別講義V(データ解析論)
共通	教授	井本正人	特別講義IV(生活環境論)
共通	准教授	團野哲也	特別講義IV(生活環境論)
生活	教授	荻沼一男	人間生活健康情報論、環境生態論
生活	教授	佐藤 厚	人間生活健康情報論、健康栄養論I
生活	教授	川村美笑子	人間生活論演習I、健康栄養論II
生活	教授	宇野浩三	住環境論
生活	教授	一色健司	環境解析論
生活	教授	大村 誠	地域防災論
生活	教授	渡邊浩幸	人間生活論演習I、食品総合科学論
生活	准教授	三浦要一	人間生活福祉政策論、住生活論
福祉	教授	杉原俊二	児童福祉論
福祉	教授	住友雄資	スーパービジョン論

領域	職名	氏名	主たる担当科目
福祉	教授	田中 きよむ	人間生活福祉政策論、福祉行財政論
福祉	教授	宮上 多加子	人間生活論演習Ⅱ、介護福祉論
福祉	准教授	長澤 紀美子	人間生活福祉政策論、国際福祉政策論
福祉	准教授	西内 章	人間生活論演習Ⅱ、ソーシャルワーク論
福祉	講師	鈴木 孝典	人間生活論演習Ⅱ、障害者福祉論
文化	教授	佐藤 恵里	地域文化論Ⅰ、人間生活文化論、人間生活論演習Ⅲ
文化	教授	青木 晴男	英米文化論Ⅰ、人間生活文化論、人間生活論演習Ⅲ
文化	教授	芋生 裕信	日本文化論Ⅱ
文化	教授	東原 伸明	日本文化論Ⅰ
文化	教授	五百藏 高浩	人間生活文化論、人間生活論演習Ⅲ、英米文化論Ⅱ

## ○健康生活科学研究科&lt;博士課程&gt;

領域	職名	氏名	主たる担当科目
共通	教授	佐藤 恵里	身体表現論
看護	教授	野嶋 佐由美	看護学特別研究、看護科学と理論
看護	教授	山田 覚	看護学特別研究、看護システム経営論
看護	教授	中野 綾美	看護学特別研究、小児看護論
看護	教授	藤田 佐和	看護学特別研究、がん看護論
看護	教授	森下 利子	看護学特別研究、成人看護論
看護	教授	時長 美希	看護学特別研究、地域看護論
看護	教授	長戸 和子	看護学特別研究、家族看護論Ⅱ
看護	教授	池田 光徳	看護学特別研究、生命科学論
看護	教授	畦地 博子	精神看護支援論
看護	教授	池添 志乃	学校保健支援論
生活	教授	佐藤 厚	生活科学特別研究、臨床栄養論
生活	教授	川村 美笑子	生活科学特別研究、栄養生理論
生活	教授	萩沼 一男	生活科学特別研究、環境生態論
生活	教授	大村 誠	地球環境解析論
生活	教授	宇野 浩三	生活科学特別研究、居住環境論
福祉	教授	住友 雄資	社会福祉学特別研究、精神障害者福祉論
福祉	教授	宮上 多加子	社会福祉学特別研究、介護支援論
福祉	教授	杉原 俊二	児童・家族福祉論



## 【非常勤講師】(平成24年4月1日現在)

	氏 名	専門分野(担当科目)
文 化 学 部	塩 見 由 利	比較文学
	小 幡 尚	日本史
	岡 崎 帛	書道
	内 田 洋 子	NPO論
	間 章	NPO論
	ジェニー・カーン	比較日本学Ⅱ
	アンドリュー・ダラム	中級英語スピーキング・上級英語スピーキング
	松 吉 明 子	日本語コミュニケーションⅠ・国際日本学Ⅴ・Ⅵ
	今 井 多衣子	日本語教育実践研究Ⅰ・Ⅱ・日本語教育学Ⅰ・Ⅱ
	池 純 子	日本語教育学Ⅰ
	廣 田 佳 久	考古学
	フーク・シュテファン	ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ
	斎 藤 昌 人	ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ
	安 藤 麻 貴	フランス語初級Ⅰ・Ⅱ・フランス語中級Ⅰ・Ⅱ
	看 護 学 部	是 永 正 敬
小 松 利 広		微生物学
清 水 孝 洋		薬理学
山 口 奈緒子		人体のしくみⅠ-A・Ⅰ-B
谷 口 睦 男		人体のしくみⅡ-A・Ⅱ-B
藤 田 博 一		心のしくみ
明 神 和 弘		心のしくみ
上 村 直 人		心のしくみ
泉 本 雄 司		心のしくみ
澁 谷 祐 一		病態と治療Ⅱ
三 宅 陽一郎		病態と治療Ⅱ
小 野 憲 昭		病態と治療Ⅱ
福 井 直 樹		病態と治療Ⅱ
寺 石 文 則		病態と治療Ⅱ
尾 崎 和 秀		病態と治療Ⅱ
田 村 耕 三		病態と治療Ⅱ
大 森 貴 夫		病態と治療Ⅱ
砥 谷 和 人		病態と治療Ⅰ
大 西 広 志		病態と治療Ⅰ
高 橋 美 枝		病態と治療Ⅰ
福 井 康 雄		病態と治療Ⅰ
細 木 信 吾		病態と治療Ⅰ
菅 野 尚		病態と治療Ⅰ
上 村 由 樹		病態と治療Ⅰ
土 山 芳 徳		病態と治療Ⅰ
森 田 雅 範		病態と治療Ⅰ
熊 田 孝 恒		行動科学
菅 沼 成 文	公衆衛生学	
安 田 誠 史	公衆衛生学	
佐 藤 純 一	生命の科学と倫理	

	氏 名	専門分野(担当科目)
看護学 部	松本 女里	医療史
	岡谷 恵子	看護と政策
	手島 恵	看護学の動向と課題
	武田 明雄	医療と経営
	渡辺 慶子	医療と経営
	深田 順一	医療と経営
	谷内 亮水	医療と経営
	谷木 利勝	医療と経営
	田村 眞知	医療と経営
	楠目 雅彦	医療と経営
	西岡 豊	医療と経営
	吉川 清志	小児と疾患
	中田 裕生	小児と疾患
	金澤 亜錦	小児と疾患
	西内 律雄	小児と疾患
	宮澤 真理	小児と疾患
	木口 久子	小児と疾患
	南 晋	母性学
	松本 光弘	母性学
	吉田 しのぶ	母性学・助産学
	小松 淳子	母性学・助産学
	永井 立平	母性学・危機管理(周産期医療)
	山本 寄人	助産学
	甲斐 由佳	助産診断論
	中山 彩	助産診断論
	有田 直子	小児看護の動向と課題
	木下 宏実	危機管理(周産期医療)
	林 和俊	危機管理(周産期医療)
	社会福祉学部	野中 由彦
玉里 恵美子		社会理論と社会システム
吉永 宣生		社会福祉史
宮本 博之		更正保護制度
上村 幸雄		権利擁護と成年後見制度
川崎 育郎	心理学理論と心理学支援	
健康栄養学部	前田 幸二	フードシステム学
	大倉 三洋	運動生理学
	網師本 真季	こころと身体活動
共通教養教育科目	池田 和夫	心の科学
	門脇 加江子	芸術論Ⅰ
	奥野 克仁	芸術論Ⅱ
	野田 智洋	健康スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ
	掛水 加奈	健康スポーツ科学Ⅰ
	宮本 隆信	健康スポーツ科学Ⅱ
	前田 正也	中国語初級Ⅰ・Ⅱ・中国語中級Ⅰ・Ⅱ
谷口 雅基	英語コミュニケーションⅠ	

	氏 名	専門分野(担当科目)
共通 教養 教育 科目	松 吉 明 子	英語コミュニケーションⅠ
	吉 門 牧 雄	英語コミュニケーションⅠ
	中 島 久 枝	英語コミュニケーションⅠ
	吉 岡 葉 子	英語コミュニケーションⅠ
	松 原 史 典	英語コミュニケーションⅠ
	吉 田 祐 子	英語コミュニケーションⅠ
	福 江 等	英語コミュニケーションⅠ
	アンドリュー・ダラム	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
	クレイグ・デイレイニー	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
	ジュニー・カーン	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
	マイケル・シャープ	英語コミュニケーションⅠ・Ⅲ
	オーウェン・ウェイド	英語コミュニケーションⅠ
	サイモン・クインラン	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
	ショーン・バーゴイン	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
	マイケル・ロバートソン	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
教 職 課 程	中 澤 勇 夫	人権教育に関する科目
	市 村 藤 一	特別活動論
	堅 田 美 穂	国語科教育法Ⅰ・Ⅱ
	小 島 郷 子	家庭科教育法Ⅰ
	島 田 希	教育課程論・教育カリキュラム開発論
	長 崎 政 浩	英語科教育法Ⅰ
学 芸 員 養 成 課 程	横 田 恵	博物館学Ⅰ
	廣 田 佳 久	博物館学Ⅱ
	松 本 教 仁	博物館学Ⅲ
	岡 本 桂 典	博物館実習講義
	中 村 茂 生	生涯学習概論

## ※ 臨床教授

高知医療センター	病院長	武 田 明 雄
〃	副院長・医療情報センター長	深 田 順 一
〃	副院長・感染対策センター長	谷 木 利 勝
〃	総合周産期母子医療センター長	吉 川 清 志
〃	救命救急センター長	村 田 厚 夫
〃	がんセンター長	森 田 莊 二 郎
〃	循環器病センター長	岡 部 学
〃	看護局長	久保田 加代子
〃	看護局次長	森 田 智 子
〃	看護局次長	田 村 眞 知
〃	栄養局長	渡 邊 慶 子
高知赤十字病院	看護部長	大 西 須 美 子
高知大学医学部附属病院	看護部長・副院長	楠 瀬 伴 子
近森会	常任理事・看護部長	梶 原 和 歌
高知県	健康政策部医監・中央東福祉保健所長	田 上 豊 資
高知県	健康政策部健康長寿政策課企画監	山 本 雅 子
カリフォルニア大学サンフランシスコ校	非常勤准教授	Mock Jeremiah

## ※ 客員教授

サミュエル・メリット大学看護学部	教授	近 藤 房 恵
------------------	----	---------